

高知

高知総局
〒780-0870
高知市本町5-1-13
☎088(823)5115
FAX(824)2541
Eメール
kochi@asahi.com
四万十支局
〒787-0011
四万十市右山元町
2-4-5
☎0880(35)2076
FAX(35)3756
須崎支局
〒785-0012
須崎市西札町2-26
☎0889(42)0272
FAX(42)0631
安芸支局
〒784-0001
安芸市矢ノ丸3-12-3
☎0887(35)2214
FAX(34)1770
購読のお申し込みは
0120-33-0843
(7:00~21:00)
購読・配達のご用は
高知 (823) 4007
(823) 2622
安芸市 (32) 0024
安芸市 (53) 0305
南国 (863) 0804
土佐山田 (53) 0305
本山 (76) 2477
伊野 (892) 1878
土佐 (852) 5666
須川 (22) 1818
崎 (42) 6381
須川 (22) 0144
中村 (34) 5426
土佐清水 (82) 0120
広告のご用は
朝日エリコム
088(880)5120
FAX(880)5121

放射性廃棄物処分場問題

東洋町長が「応募」

原環機構
受理せず
反対派、写し入手

東洋町が、原子力発電環境整備機構(原環機構)が公募する高レベル放射性廃棄物最終処分場の候補地に、昨年3月20日付で応募書類を提出していたことが15日、明らかになった。町によると、経緯を聞いた原環機構側が、町民や議会の意思が反映されていないなどとして書類を返却したため、受理されていないという。

書類の写しを入手したのは「東洋町の核廃棄物埋設施設建設に反対する高知県民連絡会」(代表・沢山保太郎さん)。14日に匿名の封書が届いたという。明らかにした書類の写しは原環機構の理事長あてで、町長の公印が押されていた。別に地元の漁業協同組合の組合長理事名の書類の写しもあった。

同連絡会のメンバーら

提出後の昨年3月28

10人が15日、町役場を訪れて田嶋町長に書類についてたどたどしく、町長は「NPO法人理事を名乗る人から応募を働きかけられた。『町長の一存で応募できる。早く書類を出した方がよい』と言われ、土曜日も自分ので助役と相談して自分で書類を作り、その人に提出してもらった」と説明した。

日、原環機構の専務理事ら4人が町を訪れ、経緯を聞いたうえで「町民への政治的責任をとる考えはない」と話した。

同町では、昨年9月に応募を検討する動きがあったことが表面化。これまで田嶋町長は町議会会で「応募するかどうかは全くの白紙」などと説明していたが、応募書類を提出したことについては明らかにしていなかった。

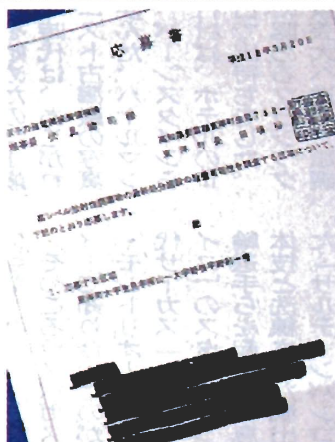
県内では、津野町でも応募を検討する動きがあったが、周辺自治体など



を収束する考えはないか。政治的責任はどうか」という質問について「一国的事業に貢献できるなら、という気持ちは今も変わらない。勉強会を開き、結論を出していくことに変わりはない」と話した。

「東洋町を考えると、昨年10月に明神健夫町長が「応募しない」との態度を明らかにしている。原環機構立地広報部は15日、「現時点で全国から正式な応募は受けていない」としたうえで、東洋町が提出した書類について「応募以前の個別の事情についてはコメントできない」とした。

反対署名は町民の3分の2近くの2179人分と、町外の人2805人分があるという。別に全国のサーファーから寄せられた4441人分の署名も届けられた。



田嶋町長名で提出された応募書の写し

収穫したお米がデザートに变身

高知の小学校、高知市横内の市立横内小学校の5年生115人が、昨年4月に田植えをし、秋に収穫した米を使って作ったデザート「米タルト」が15日、同小学校のほか、市内の幼稚園



「米タルト」を楽しむ児童たち—高知市横内の市立横内小学校で

1園と小中学校11校の給食で出された。自分たちが生活する地域の作物に親しんでもらおうと、同市教委が企画。タルトは今年中に市内のすべての市立幼稚園、小中学校で順次出される。

タルトの生地や、上にかけるミルクソースに、米を細かくひいた上新粉を使っている。独特のもっちりとした食感がある。横内小学校5年生の

健康願って
どんど焼き

正月飾りを燃やして、

南 国

容 移 い 違 夫 高 県 会 販 複 的 マ 議 香 無 話 分 浜 田 馬



米を細かくひいた上新粉を使っている。独特のもっちりとした食感がある。横内小学校5年生の

健康願って

どんど焼き

南 国

正月飾りを燃やして、今年1年の健康を願う小正月の伝統行事「どんど焼き」が15日、南国市十市の新宮神社近くであった。写真。同神社の森國英夫宮司が神事をした後、地元の人たちが持ち寄った門松やしめ縄などに火をつけた。

近所の幼稚園児や保育園児計約200人も参加。園児らが作った大きな門松が燃えてはじけると、園児らは大きな声をあげていた。